

1年

シンシュン

愛知教育大学附属岡崎中学校 川村 大樹

単元の特徴・付けたい力

本単元は、心情や行動を表す語句に注意して読むこと、場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉えることが大きなねらいである。「シンシュン」は、中学校に入学し、初めての物語教材となる。文学的文章では、場面の展開に応じて登場人物の心情が変化することが多い。そのため、場面の展開を適切におさえ、シュンタとシンタそれぞれの描写に着目して、心の動きに迫っていけるような力を付けていきたい。

ICTの活用について

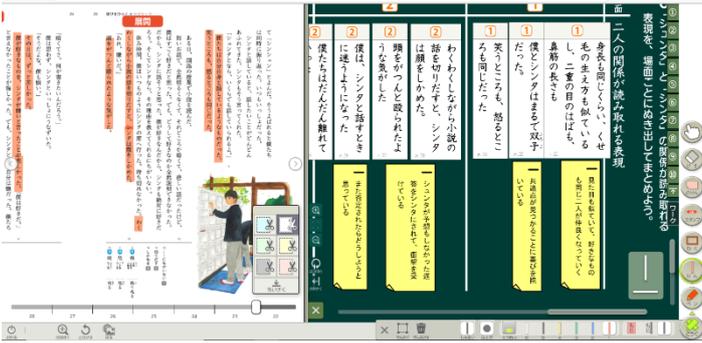
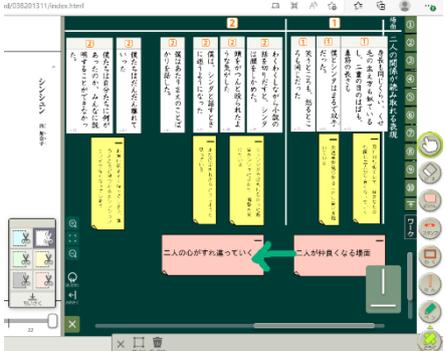
デジタル教科書の「どうぐ」にある「せん」や「スタンプ」を活用し、場面の内容を捉える。

デジタル教科書の「マイ黒板」の「ワーク」を使い、シュンタとシンタの共通点や描写を抜き出し整理することで、登場人物の心の動きを捉える。

全時学習活動（全4時間）

時	主な学習活動	
1	「シンシュン」全文を読み、初読の感想を交流する 登場人物や場面の展開についておおまかに確認する	 
★2	登場人物の場面の展開に沿って二人の関係の変化を整理する	
3	二人の関係の変化について話し合う	
4	「シンシュン」を読み深めた感想を交流する	

★2 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点</p> <p>◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆生徒の反応</p> <p>□先生の感想</p>
<p><u>導入：前時を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。</u></p> <p>◇前時で確認した、場面ごとの内容について振り返る。</p> <p>◇本時では、「シュンタ」と「シクタ」の関係が読み取れる表現に着目して、二人の関係の変化について考えていくことを確認する。</p>	
<p><u>展開(1)：二人の関係が読み取れる表現を抜き出し、「マイ黒板」にまとめる。</u></p> <p>①それぞれの場面から二人の関係が読み取れる表現に傍線を引く。</p> <p>◆関係が読み取れる表現に「赤線」を引く。(右図参照)</p>  <p>②傍線を引いた表現から二人の関係について「マイ黒板」にまとめる。</p> <p>◆「マイ黒板」の「ワーク」に傍線を引いた表現を貼り付け、「ふせん」に二人の関係についてまとめる。(下図参照)</p> 	<p>◆本文を繰り返し読み、集中して線を引いている。</p> <p>□紙の教科書とは違い、線を消す作業がクリック一つのできるで、子どもは間違いを恐れずに取り組むことができる。</p> <p>◆線を引いた部分について、考えたことを「ふせん」を活用してまとめている。</p> <p>□ICTの使用に長けている子とそうでない子で作業速度の差が大きくなるので、こちらが机間指導で進捗状況を常に把握しておくことが重要である。</p>
<p><u>展開(2)：「マイ黒板」にまとめた内容をもとに、人の関係がどのように変化していったのか考える。</u></p> <p>◆黄色の「ふせん」にまとめた二人の関係をもとに、関係の変化をピンクの「ふせん」にまとめる。(下図参照)</p> 	<p>□自分の思考が「マイ黒板」により、一目で分かるのはよい。</p> <p>□書く時間が大幅に短縮され、思考することに専念できていた。</p>
<p><u>まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</u></p> <p>◇次時は、「マイ黒板」にまとめた内容をもとに、二人の関係がどのように変化していったかについて話し合うことを予告し、学習の見通しをもたせる。</p>	